

## 研究業績集（2023～2024 年）

### 1 氏名等

氏名 鈴木光行 性別 男  
年齢 66 歳 生年月日 1958 年 4 月 11 日  
E-mail アドレス: mi\_suzuki@yamazaki.ac.jp

### 2 現職

学部名 動物看護学部 学科名 動物看護学科  
職名 教授 発令年月日 2024 年 4 月 1 日  
併任 なし

### 3 学歴・学位

（最終学歴）2004 年 10 月 北里大学医療系研究科特別研究生修了（医科学博士）

### 4 職歴

（2023 年度以降採用者のみ）

1977 年 東京消防庁奉職（1983 年 4 月まで）  
1986 年 株式会社 三菱化学ビーシーエル（2008 年 3 月まで）  
2008 年 東京栄養食糧専門学校（2024 年 3 月まで）  
2024 年 ヤマザキ動物看護大学入職 現在に至る

### 5 学会

- (1) 学会及び社会における活動実績に関する事項  
なし
- (2) 学会誌・国際学会議事録等に掲載された学術研究論文数  
12
- (3) 学会賞等・年  
なし
- (4) 国際学会でのゲストスピーカー歴  
なし
- (5) 国内学会でのゲストスピーカー歴  
なし
- (6) 所属学会  
日本臨床検査医学会

### 6 賞罰

- (1) 教育関係の表彰

なし

(2) 感謝状等

なし

(3) その他

1. 東京消防庁 消防総監賞 1985

7 授業担当(当該年度)

(1) 教育担当科目(科目名、単位数)

2023 年度：なし

2024 年度：基礎生化学 2 単位

(2) 分担科目(科目名、単位数)

2023 年度：なし

2024 年度：特殊検査 2 単位、動物臨床検査学 2 単位、  
動物臨床検査学実習 2 単位、動物看護学Ⅱ 2 単位、  
応用動物看護学Ⅱ 2 単位、応用動物看護学演習Ⅱ 1 単位

8 現在の主要な研究課題

課題名：動物における酵素結合性免疫グロブリンの存在

9 教育業績、研究業績、社会貢献、法人・大学運営に関する事項

(1) 教育上の実績に関する事項(作成した教科書、教材)

1. 鈴木光行：2016、生化学実験テキスト、株式会社アドスリー
2. 鈴木光行：2016、解剖生理学実験テキスト、株式会社アドスリー
3. 鈴木光行、飯塚由紀子：2017 自然科学原論教科書、株式会社アドスリー
4. 岡部まい、鈴木光行、國井規代：2018、食品衛生学実験テキスト、株式会社アドスリー

(2) 職務上の実績に関する事項(特許等：発明の名称、公報種別、特許番号等)

なし

(3) 外部研究資金(競争的資金)の受入

- 1) 各省庁及び各種財団等の補助金；なし

区分

課題番号

代表者

研究課題名

金額(年度配分額)

2) 奨学寄附金；なし

研究科題名

金額(年度配分額)

3) 受託研究；なし

研究科題名

金額(年度配分額)

4) その他；なし

研究科題名

金額(年度配分額)

(4) その他(産学官連携等に関する事項を含む)

なし

1 0 著書、論文、学術発表の実績に関する事項(本人については下線で示す)

(1) 著書：

1. 斉藤徹, 鈴木光行: ダイエットをめぐる生物学 2016 年 12 月株式会社 アドスリー
2. 田中実, 鈴木光行: 栄養を理解するための生化学 2021 年 4 月株式会社 アドスリー
3. 佐久間伸一, 鈴木光行 他: 「こころ」をめぐるバイオサイクロロジー 2023 年 Galaxy Books 株式会社

(2) 欧文論文

1. Mitsuyuki Suzuki, Toshio Okazaki, Tatsuo Nagai, Klara Toro, Peter Setonyi :  
Viral infection of infants and Children with benign transient Hyperphosphatasemia,  
Immunology and Medical Microbiology、33、215-218、2002
2. Toshio Okazaki, Tetsumi Iwasaki, Akemi Fukuoka, Mitsuyuki Suzuki, Hiroshi  
Katagiri, Tetsuroh Okano, Shinichiro Takahashi : Effects of albumin-Bound-fatty acids  
on the growth of the human T lymphoblastic cell line Jurkat、In Vitro Cellular &  
Developmental Biology、47、615-617、2011

(3) 和文論文

1. 鈴木光行, 岡崎登志夫, 上遠野延行, 三浦雅一, 菅野剛史 : 乳酸脱水素酵素アイソザイ  
ムの追加バンドをもつ肺癌患者の 2 症例、生物物理化学、38、333-336、1994

2. 鈴木光行,岡崎登志夫,浅原勝,上遠野延行,三浦雅一,菅野剛史：下行結腸癌患者に見いだされた易動度の速い小腸型 ALP アイソザイム異常バンド、生物物理化学、40、35-38、1996
  3. 鈴木光行,岡崎登志夫,浅原勝,上遠野延行,菅野剛史：肝臓型 ALP に対して阻害活性を示す好酸球性肺炎患者の 1 例、生物物理化学、42、61-64、1998
  4. 鈴木光行,岡崎登志夫,浅原勝,上遠野延行,菅野剛史：一過性高 ALP 血症の病態解析：臨床病理、46、1、88-90、1998
  5. 吉田悦子,鶴岡貞子,鈴木光行,浅原勝,岡崎登志夫,上遠野延行,菅野剛史：日常検査で見出されたマクロアミラーゼの性別・年齢分布、臨床病理、46、5、473-477 1998
  6. 鈴木光行,浅原勝,岡崎登志夫,中川孝幸,近藤明,菅野剛史：リボ蛋白質分析用ポリアクリルアミグラジエントゲルを用いた LDL の解析、生物物理化学、44、303-307 2000
  7. 岡崎登志夫,鈴木光行,長井辰男：血中に出現する AFP 結合性免疫グロブリン、生物試料分析、27、3、210-214、2004
  8. 岡崎登志夫,鈴木光行,長井辰男：血中異常 ALP アイソエンザイムの特徴、生物試料分析 27、3、215-220、2004
  9. 鈴木光行：血中の異常アルカリ性フォスファターゼの解析「博士論文」、北里大学、2004
  10. 岡崎登志夫,橋詰利治,鈴木光行,小川善資：高脂肪飼料給餌ラットに対するスिकाエキスの肥満抑制効果、ペット栄養学会誌、17、1、13-18、2014
- (4) 財団・調査等研究報告、大学紀要・研究所報告、文部科学省科学研究費補助金による報告書、その他それに準ずる定期刊行物
1. 鈴木光行：私が経験した臨床検査センターでの仕事、動物研究投稿中 ヤマザキ動物看護大学、2024
- (5) 総説、解説、翻訳、論文形式を除くその他(国内定期刊行物、商業誌等)
1. 鈴木光行：臨床検査値と基準範囲、学術研究、千葉県栄養士会雑誌、41、2-3、2023
- (6) 学術講演、学会報告
1. 松丸佳一,鈴木光行,荒川秀司,上遠野延行,菅野剛史：LDH/AST 高値を示す病態の解析、第 41 回日本電気泳動学会春季大会、日本電気泳動学会、(東京都)、1991 年 6 月
  2. 鈴木光行,岡崎登志夫,松丸佳一,三浦雅一,菅野剛史：加熱処理により免疫向流法で同定し易くなる LD 結合性免疫グロブリン、第 44 回日本電気泳動学会総会、日本電気泳動学会、(埼玉県)、1993 年 10 月

3. 鈴木光行, 上遠野延行, 菅野剛史 : 小児一過性高 ALP 血症の調査解析、第 44 回日本電気泳動学会春季大会、日本電気泳動学会(東京都)、1994 年 6 月
4. 鈴木光行, 上遠野延行, 菅野剛史 : LDH/AST 高値を示す病態の解析、第 41 回日本臨床検査医学会総会、日本臨床検査医学会、(岩手県) 1994 年 10 月
5. 吉田悦子, 鶴岡貞子, 鈴木光行、浅原勝, 岡崎登志夫, 上遠野延行, 菅野剛史 : 日常検査で見出されたマクロアミラーゼの性別・年齢分布、第 43 回日本臨床検査医学会総会、日本臨床検査医学会、(静岡県) 1996 年 11 月
6. 鈴木光行, 浅原勝, 岡崎登志夫, 菅野剛史 : LDL 多様性の研究、第 46 回日本臨床検査医学会総会、日本臨床検査医学会、(熊本県) 1999 年 11 月
7. 浅原勝, 鈴木光行, 岡崎登志夫, 中川孝幸, 菅野剛史 : 血清 AFP-L3 分画比測定における免疫グロブリン結合 L3 分画の存在、第 50 回日本電気泳動学会春季大会、日本電気泳動学会 2000 年 6 月(東京都)
8. Mitsuyuki Suzuki, Toshio Okazaki, Tatsuo Nagai : A Marker Predicting Death: Anomalous Small Intestinal Type Alkaline Phosphatase Isoenzymes : Molecular Biology - Forensic Medicine Kitasato University - Semmelweis University Joint Scientific Meeting (Budapest) 2002
9. Mitsuyuki Suzuki, Toshio Okazaki, Tatsuo Nagai : ALP isoenzyme Fractions been in the grip of death、16<sup>th</sup> meetig of the international Association of Forensic Sciences、(France) 2002
10. 鈴木光行 : ノイラミニダーゼ抵抗性と抗小腸型および抗骨型 ALP モノクロナール抗体に反応しない異常 ALP バンド、第 52 回日本電気泳動学会総会、日本電気泳動学会、2004 年 11 月(兵庫県)

#### 1 1 社会貢献の実情に関する事項

- (1) 非常勤講師(大学) : 大学名、科目名、単位数  
なし
- (2) 講師派遣 : 派遣名称、派遣先名称、テーマ、日時、場所  
なし
- (3) 市民大学 : テーマ、時間数、開講年度、開講場所  
なし
- (4) 各種委員会・審議会等の委託 : 委員会等の名称  
なし
- (5) その他(高校生セミナー、小・中学校での講演、地域シンポジウムへの参加等)  
なし

#### 1 2 法人・大学運営の実績に関する事項

- (1) 役員・評議員に関する事項(法人)：役職名  
なし
- (2) 各種委員会に関する事項(法人)：委員会名  
なし
- (3) 各種委員会に関する事項(大学)：委員会名  
2023 年度：なし  
2024 年度：FD 委員会、研究科委員会、研究委員会
- (4) 広報活動 例)報道発表(プレスリリース)、雑誌への投稿、取材(学外者)の受入、取材監修、ホームページへの発表等：タイトル、媒体、年月日  
なし
- (5) その他  
2024 年度：クラスアドバイザー (4A)  
2024 年度：大学院修士論文副審査員